



玉名市立鍋小学校

学級数 8学級
児童数 140名

玉名市小中一貫教育 玉名市は全小中学校で小中一貫教育を進めています。

岱明中学校区教育目標

「郷土に誇りをもち、夢に向かって挑戦する児童・生徒の育成」

岱明中学校区でめざす子ども像

○夢を持ち、主体的な学びを身につけた児童・生徒

○郷土に誇りをもち、素直で思いやりのある児童・生徒

○心身ともに健康で、根気強くやり抜く児童・生徒

※岱明中学校区の5小中学校は、文部科学省・熊本県教育委員会・玉名市教育委員会指定「小中一貫教育推進事業」モデル地域です。

1 鍋小プライド わが校のじまん・宝物

明治23年1月に鍋北、鍋南の2校を合併し、鍋尋常小学校となったのが、鍋小学校の始まりで、以来120年以上の歴史ある学校です。地域には鍋小学校の卒業生も老若男女を問わず多く、地域の皆さんに愛され、支えられている学校です。

(1) 校歌

現在の鍋小学校の校歌は、昭和39年3月に制定されました。歌詞は地域の方に一般公募され、検討と補作を重ねて完成しました。

写真は前庭にある校歌の石碑です。

行事や集会のたびに、50年以上歌い継がれてきた校歌です。在校生も、いつも大きな声で元気よく歌っています。



(2) 地域とともに体験活動

地域の皆さんの協力で、鍋小児童はさまざまな体験活動に取り組んでいます。

写真は、松原海岸での潮干狩りです。漁協やボランティアの方に教えて頂きながら、全校児童でアサリ貝を採る体験ができました。

老人会の方との芋苗植え、漁協との海苔すき、社会福祉協議会とのふれあいサロン（地域のお年寄りとの交流）など、児童と地域をつなぐ体験活動に取り組んでいます。



(3) スクールボランティア

登下校見守りボランティアや、学習支援ボランティアに、今年も56名の地域の方が登録してくださいました。

写真は、運動会でのボランティア紹介の様子と、1年生発表会の様子です。

朝夕とも、通学路の至る所に見守りの方がおられ、地域によっては、下校時に毎日お迎えに来てくださいます。児童の安心安全のかなめの皆さんです。



2 学校教育目標

郷土に誇りをもち 夢に向かって挑戦する児童の育成
教育ビジョン

夢を持ち（自立）、仲間とともに（協働）、高めあう（創造）

小さくともきらりと光る学校「鍋小」

3 めざす子ども像（鍋小のめあて）

- かしく 夢をもち、主体的な学びを身につけた児童
- やさしく 郷土に誇りをもち、素直で思いやりのある児童
- たくましく 心身ともに健康で、根気強くやり抜く児童

岱明中学校区小中学校5校では、小中一貫教育の取組として、学校教育目標、めざす子ども像を共有し、「輝く15の春を目指す 岱明版スタンダード」の確立を目指しています。

4 教育活動の実践・重点事項等（そのために、こんなことをしていきます）



（1）校内研修（教師の授業力向上）

「一人学び・教え合い」「めあてとまとめ（見直しと振り返り）」をキーワードに、「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりに取り組んでいます。

児童同士が関わり合い、「教えて」と言える授業づくりを進めるとともに、振り返りを通して児童自身が学びの内容を整理したり、他の人との関わりを確認したり、今後の学習への意識付けをすることで児童の学力向上を目指します。



（2）地域に開かれた教育課程

児童と保護者や地域の方との協働によって、一緒に未来創造しています。

写真は学校評議員と6年児童が協力して、児童の地域での挨拶をよくする方法を検討している様子です。今後、児童集会や保護者会で成果を発表して、実践につなげます。

避難訓練を保育園と一緒に実施し、地域の方に公開して意見を頂くなど、これまでの行事や組織を工夫して「地域に開かれた教育課程」を推進します。

（3）小中一貫教育の推進

岱明中学校区で進めている小中一貫教育では、地域で一貫性のある指導に取り組んでいます。「かがやき5（岱明版授業スタンダード）」と「すこやか5（岱明版健康スタンダード）」（左図）の共通実践など、「輝く15の春を目指す」9年間を見通した小中一貫教育を推進していきます。

11月15日（水）には、校区の5校を会場に、研究発表会を開催します。地域の方、保護者の方も含めて、多くの皆様のご来校をお待ちしています。

